

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和2年度 未来戦略創出会議(第6回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和2年10月8日(木) 14時00分～14時30分
開催場所		庁議室(本庁舎5階) ※一部の委員・幹事はビデオ通話にて出席
議題		(1)令和3年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・総務部長・危機管理監・施設整備担当部長、区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長・広報課長・総務課長
	説明者	財政課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審議経過

(1) 令和3年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について

幹事 資料に基づき、令和3年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について説明。

新型コロナウイルス感染症は、我が国の経済や社会に計り知れない影響を及ぼしており、本区においても現時点で4次にわたる補正予算を編成し、緊急対策を展開しているところである。今後も困難な状況にある区内経済及び区民生活を支えることを最優先に、必要な施策を迅速かつ着実に展開していかなければならない。

こうした中、歳入は、不合理な税制改正の影響に加えて新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う景気悪化を受けて、区の基幹歳入である特別区民税と財政調整交付金の大幅な減が見込まれている。複数年に渡ってこうした影響が及ぶことが見込まれるなど、今後の歳入環境は非常に厳しい状況にあると考えている。一方、歳出においては、本年7月に選定された「SDGsモデル都市」の理念を具体的な取組へとつなげる必要があること、それをもって、「国際アート・カルチャー都市」への実現に全力で取り組む必要がある。加えて、中小企業支援、防災対策のほか、今後も増加が見込まれる社会保障関連経費への対応など、喫緊に対応が必要な行政課題は山積している。

こうした状況において、「感染拡大防止と社会経済活動の両立」という社会課題に対応しつつ、区に再び活気を取り戻すため、「ピンチをチャンスに変える」という信念のもと、「新しい日常」を見据えた区政運営に積極果敢に挑戦していかなければならないと考えている。区が実施する事業についても、前例踏襲の姿勢を見直し、社会変革の状況を適切に捉え、「新しい生活様式」などの新たな視点により再構築を図る必要がある。来年度の枠内予算の編成にあたっては、今後の財政見通しが危機的状況にあるとの認識のもと、新たな施策については、真に必要なものに限定するとともに、全ての既存事業においてゼロベースで事業の効率性や有効性を評価した上で、必要な見直しを図りたい。

枠内経費について、各部局の枠配分額は資料のとおりである。なお、枠配分額の算出にあたっては、従来の精査に加え、新たに設定したシーリング(予算要求基準)に基づき、枠内予算のうち義務的な経費(人件費、扶助費、公債費、基金積立金)を除いた一般行政経費の10%相当額を削減している。全部局合計で、従来の削減額は461,990千円、シーリングによる削減額は1,116,306千円となり、これらを差し引いた令和3年度の枠配分額は29,394,100千円となる。厳しい削減額を課してなお、令和2年度比で6億7千万円以上の増となる状況であることから、厳密に設定した削減額を達成していただきたいと考えている。各部局は、配分された枠配分額を上限として枠内予算を作成いただき、枠配分額に枠内予算額が収まらない部局については、超過した財源を枠外経費の予算要求額から捻出していただきたい。また、コロナ禍における事業の継続性についても改めて検証を行い、事業の休止を含む抜本的な見直しを行ったうえで、予算の見積もりを行うこととする。

枠外経費についても、事業の効率性や有効性、コロナ禍における事業の継続性について徹底的に検証し、抜本的な見直しを行ったうえで、必要最低限での予算要求とされたい。

区長 新型コロナウイルス感染症の影響はこれまで経験したことがないものであり、来年度の予算編成は大変厳しいものとなる。しかし、逆にこのような時こそチャンスがあるとも考えている。これまで当たり前に行っていたものについても効果検証を行い、今の社会情勢や生活様式に合わないものはしっかり点検をしてもらいたい。ただ、どうしても必要なものはやらざるを得ないということは承知している。常に言っているように、最少の経費で最大の効果をあげることが我々行政の目標であるので、それを考慮してもらい、各部局とも苦しいやりくりにはなるが、予算編成に取り組んでもらいたい。

<p>会議の結果</p>	<p>(1) 令和3年度当初予算編成方針・部局枠配分額等について → (1) について決定。</p>
<p>提出された資料等</p>	<p>・令和3年度予算編成について(依命通達)</p>